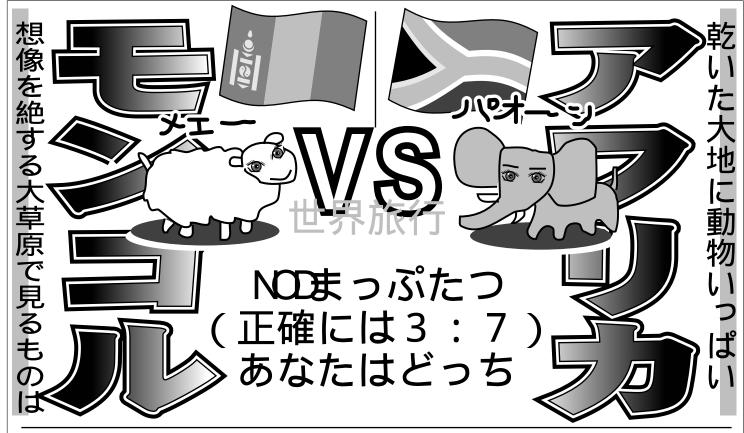
怒涛の

2 =

1999 Mar.



PRESENTED
BY
NOD
PRINTING
STAFF
AND MORE



モンゴル派アフリカ派全面対決

次期海外旅行候補問題で、NODが二つに分裂している。先日、挙手による投票では、7:3でアフリカ派が勝ったようだ。納得がいかないモンゴル派は「次はリベートで対決だ!」と意気込んでいる。いまのところ、両者に歩み寄る気配は全くないが、アフリカとモンゴルは両国とも日本にはなじみが薄いので、まずお互いの国を知ってから結論をだしても遅くないのでは... 今回は両者を徹底的にリサーチしてみよう。(徹底的ってほどじゃないけど・・・)

モンゴル共和国

このアジア大陸の高原の国、我々モンゴロイドの故郷の国は、日本とは距離的には近いにもかかわらず、最近まできわめて遠い国のひとつだった。 1989年まではモンゴル人民共和国は、中国とロシアにはさまれた国で、海抜 1,000から 1,500メートルのモンゴル高原にあり、国の広さは日本の国土の 4倍強である。しかし、人口は 23 (万人(1992年国連統計より)と、私のすんでいる静岡県の人口よりも少なく、そのうち 60万人は首都のウランバートルにすんでいる。

産業は牛や馬、羊などの放牧と、その肉や革、羊毛の加工、特にカシミヤなどの繊維製品の生産、それに銅精鉱などの鉱物資源の生産といったものが主体である。

広大なモンゴル・草原ゴビの中に立つ。遠くまで見渡せて、空気は乾いて心地よく、心が解き放たれるようで、 とてもいい気持ちです。グーです。この乾燥して不毛な土地にも花は咲き、虫や 小さな動物が隠れています。 植物はどれも膝下くらいまでの高さしかないけれど、しぶとく 岩の間から葉を伸ばしています。

----以上 ホームページから転載 ----



南アフリカ共和国

アフリカ大陸の南端に位置する 南アフリカ共和国 。この国のキャッチフレーズ "There is the world in this country"(一つの国に世界がある)が示すとおり、ここにはヨーロッパ風の建物がある反面、想像を超える大自然が広がり、野生動物の宝庫でもあります。加えてワインの美味しさは本場のヨーロッパ以上! インフラや交通手段は欧米に比べて整備されていないため、厳しい渡航になるでしょうが、きっと新しい発見があるはずです。

ところで、アフリカといえば、野生動物たちとの出会いが大きな楽しみです。でも、ガイドさんの言葉によると、結構出会えない場合も多いとか...

やはり、ヤラセでない、まったくの自然ですから、それも仕方がないと。

サファリツアーの途中で、「マサイ族の村」なるところに立ち寄りました。ガイドブックに出ているところの「観光マサイ」って奴ですダンスとか見せてくれたり(昔 C M で見た奴)、家の中見せてくれたり、 と貴重な体験なのは確かだったのですが、ダンスの後で、「俺の矢を買ってくれ」とか、チップよこせとか、 最後には、あんまり気持ちの良い状況ではなかったのでした。

----以上 ホームページから転載 ----